

# 土砂災害から身を守るためには

問い合わせ先

総務課防災情報係

(32) 31111



がけ崩れにより押し出された物置



崩落した急傾斜地

御代田町は、比較的災害は少ないといわれていますが、もしものときは、突然やってきます。

近年は、突発的な豪雨や地震などにより日本全国で災害が発生しています。

台風や大雨、地震などによる「土砂災害」にご注意ください。

土砂災害は一瞬にして、尊い生命や家屋などの貴重な財産を奪うなど、甚大な被害をもたらします。

土砂災害の被害を防ぐためには、一人ひとりが土砂災害から身を守るように備えておくことが重要です。

今回は、全国で発生している土砂災害の発生状況について、土砂災害危険箇所と土砂災害警戒区域について、土砂災害から身を守るために知っておきたい3つのポイントについて紹介します。

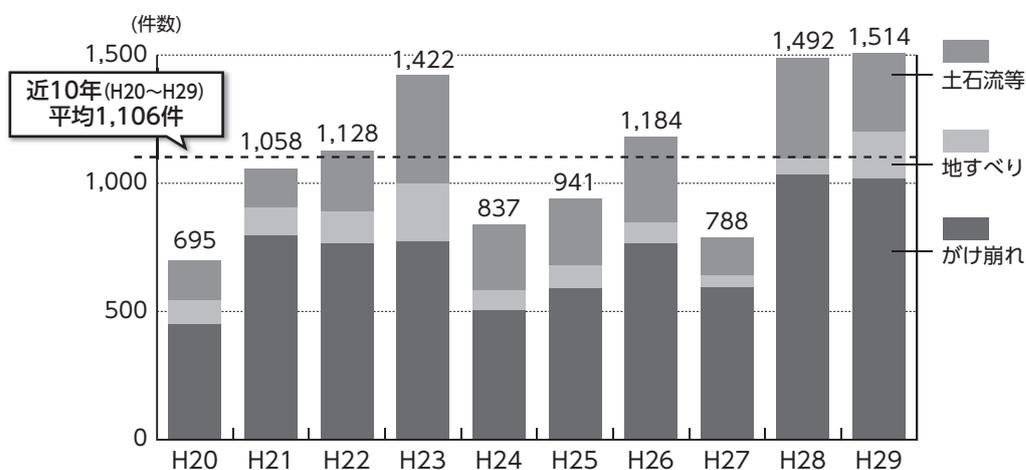
# 日本全国で発生している土砂災害

がけ崩れや土石流などの土砂災害は、すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまふ恐ろしい災害です。傾斜が急な山やがけが多く、台風や大雨、地震などの多い日本では、その地形的・気象的な条件によって、土砂災害が発生しやすい国土環境にあります。過去10年間の土砂災害発生件数をみると、平均して1年間におよそ1,100件もの土砂災害が発生しています。平成29年の土砂災害の発生件数は1,514件で、ほとんどの都道府県で土砂災害が発生しています。

土砂災害が発生するおそれのある区域は、日本全国で約66万区域にのぼると推計されています(平成29年度末時点の推計値)。

国などでは、土砂災害による被害を防ぐために、砂防えん堤などの施設整備や警戒避難体制の整備などの対策を実施していますが、これらと併せて、一人ひとりが土砂災害に対して、日ごろから備えておくことも重要です。

近10年の土砂災害発生件数



資料提供：国土交通省

## 土砂災害危険箇所と

### 土砂災害警戒区域等

#### 土砂災害危険箇所(法的な位置づけはありません)

国土交通省の要請により、県が調査を実施したものの、町の土砂災害危険箇所は「信州くらしのマップ」で公開されています。

#### 箇所の定義

土石流、地すべり、急傾斜地の崩壊が発生するおそれがある箇所(それぞれ、土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所と定められています)。

#### 土砂災害警戒区域等(法律に基づき調査したもの)

土砂災害防止法に基づき、現地調査を行い、指定された区域。土砂災害警戒区域等については、土砂災害防災マップを作成しています。このマップは町ホームページで公開されています。

#### 区域の定義

急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりが発生した場合に住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域。